Cadizオイルヒーター

取扱説明書

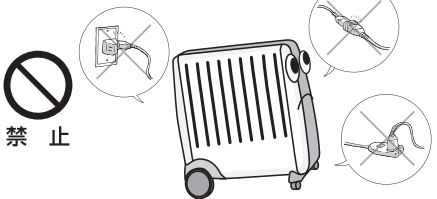
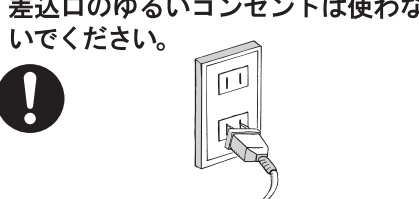
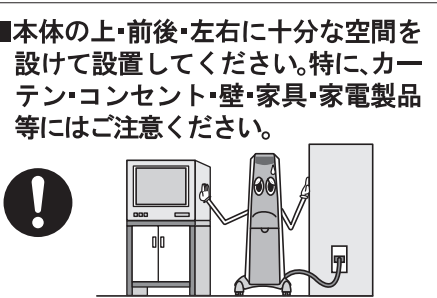
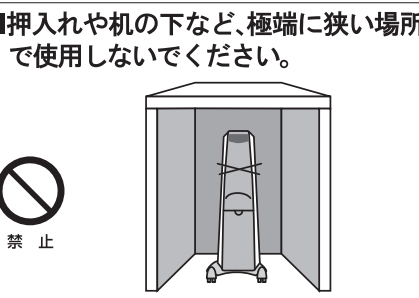
ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

もくじ

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 各部のなまえ、設置の方法、運転のしかた・・・・・・3
- お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 保管のしかた、電源コードの点検、故障診断・・・・・5
- アフターサービス、仕様・・・・・・・・・・・・・・6

【安全上のご注意】

■この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項(図記号等による表示)を必ずお守りください。

■注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

高温注意 △の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。	分解禁止 ⃠の記号は、してはいけない行為(禁止事項)を示しています。	電源プラグをコンセントから抜け ●の記号は、しなければならない行為を示しています。

⚠警告

■電源は、１００Vの壁のコンセントに電源プラグを直接に差込んでください。

２００Vに接続すると、発火のおそれがあります。

■延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。

コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

■電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。

過熱により発火するおそれがあります。

■電源コードを本体に巻付けたり接触させたりしないでください。

熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

■コンセントが近くにあってコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。コードボックス内にも巻付けないでください。

コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

■コードに重い物を載せたり、傷付けたりしないでください。

発火の原因となります。

■暖房中は幼児を放置しないでください。必ず保護者が監視してください。

高温のパネル等に触らせないように配慮願います。

■本体の上・前後・左右に十分な空間を設けて設置してください。特に、カーテン・コンセント・壁・家具・家電製品等にはご注意ください。

火災・変形・変色・故障等の原因となります。

■押入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。

故障や熱変形等の原因になります。

■コンセントのすぐ下では使用しないでください。

禁　止

熱で電源コードを傷め、火災の原因となります。

■布団や洗濯物などを掛けないでください。

禁　止

過熱により火災につながる恐れがあります。

■水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。

水ぬれ禁止

水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。

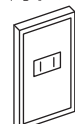
禁　止

歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因になります。

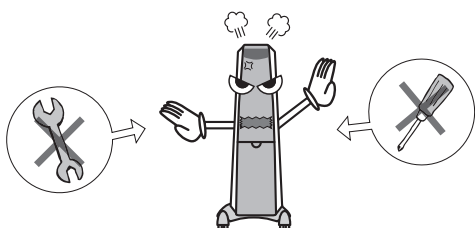
■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。

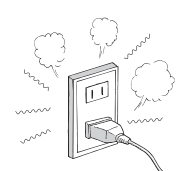
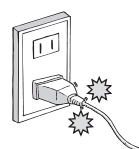
禁　止

熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。幼児や泥酔された方には特に注意してください。

■シーズンオフや長時間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。

トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間が汚れ、湿気などによりショートすることです。

■修理技術者以外の人は、分解・修理を行なわないでください。

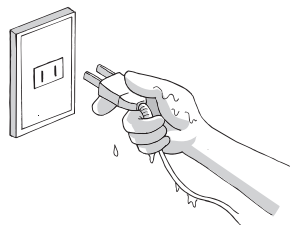
分解禁止

誤った修理を行なうと、発火や感電のおそれがあります。
本体に密閉されているオイルが漏れ出す恐れがあります。

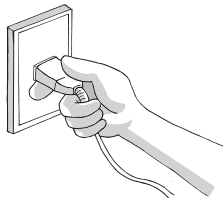
■次のような場合には直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理の依頼等を行なってください。

コードやプラグが熱い。

コードを動かすと電源が切れる。（または、電源が入る。）

使用し続けると発火のおそれがあります。

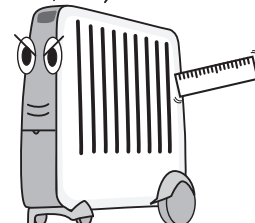
⚠注意

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行なわないでください。

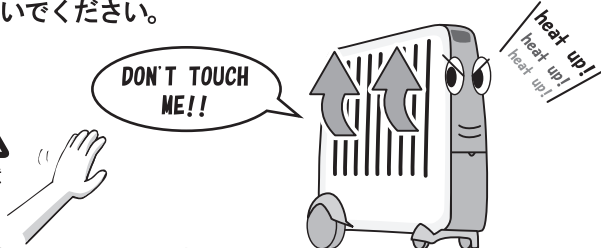
ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

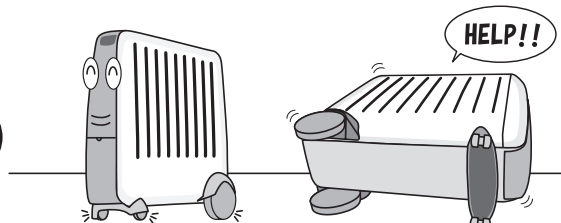
■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

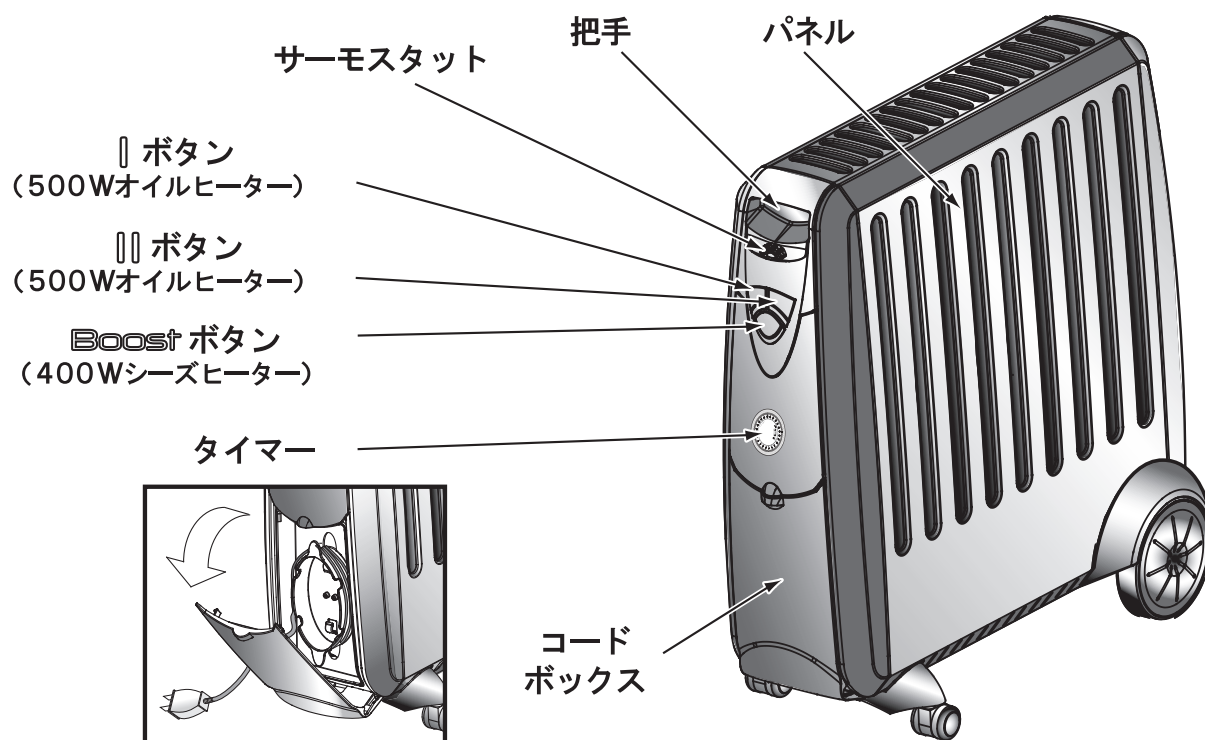
■外装の隙間から、指や異物を差し込まないでください。

禁　止

ヤケド・感電や故障の原因となります。

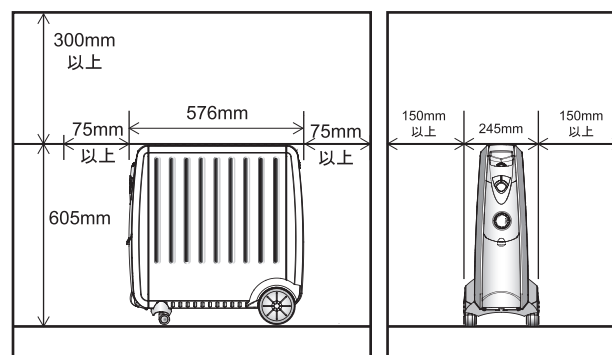
■パネルなど本体の外装は高温になります。使用中には手で触れないでください。

高温注意

幼児が触らないよう、注意願います。
お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は、水平で平らな場所に正しく置いてください。

倒れるとケガをするおそれがあります。倒しての使用では、火災の原因となります。

各部のなまえ

設置の方法

設置

平らで安定した場所に設置してください。
上方及び前後左右には十分なスペースを設けてください。
棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。

運転のしかた

電源接続

電源プラグを壁のコンセントにしっかりと差し込みます。
延長コード類は絶対に使用しないでください。
長時間ご使用にならない場合には、３つのヒーターを切にして電源プラグをコンセントから抜いてください。

温度調節

ヒーターへの通電を自動的に入･切をして、ご希望の室温に近づけます。
サーモスタットの数字の大きい方に回すと、温度が高くなります。数字の小さいほうに回すと温度が低くなります。＊に設定すると５℃程度の温度となり、室内の凍結を防止することができます。

手動運転

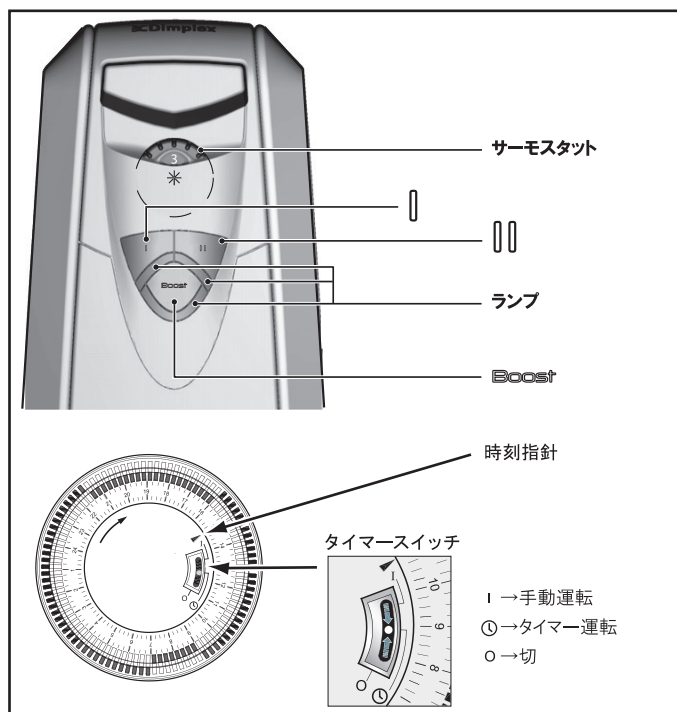
①タイマースイッチを「Ｉ」(手動運転)に合わせます。

②Ｉボタンを押すと下のランプが点灯し、５００Wオイルヒーターが運転します。もう一度ボタンを押すとランプが消灯し、停止となります。

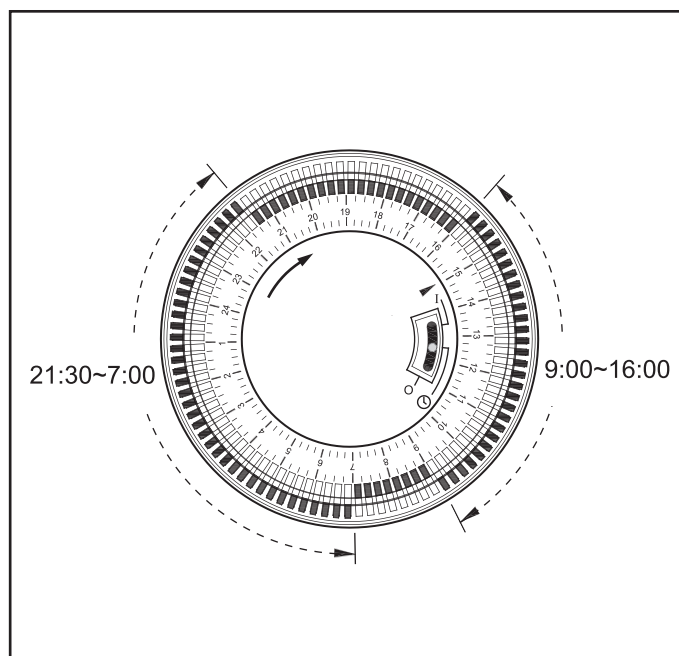
③ＩＩボタンを押すと下のランプが点灯し、もうひとつの５００Wオイルヒーターが運転します。もう一度ボタンを押すとランプが消灯し、停止となります。

④Boostボタンを押すとボタン下のランプが点灯し、４００Wのブーストヒーターが運転します。もう一度ボタンを押すとランプが消灯し、停止となります。（ブーストヒーターはオイルを介さずに空気を直接暖めます。）

⑤上記のヒーターの組み合わせで４００W→５００W→９００W→１０００W→１４００Wの運転切り替えができます。

⑥タイマースイッチを「O」に合わせると、全てのヒーターの通電が切れます。

タイマー運転

時刻の設定
タイマーを右回りに回して▲の位置に現在時刻を合わせます。（２４時間タイマーで、目盛は１５分刻みにです。例：午後４時と設定する場合、ホイールを回して▲の位置に16を合わせてください。）
※タイマーを逆回転させることはできません。（故障します）

タイマーの設定
※まず手動運転を行い、３つのヒーターのうち、使用するヒーターを「入」にします。
運転したい時間のピンを外側にスライドします。停止したい時間のピンを内側にします。（例　9:00～16:00および21:30～7:00に運転する場合）
ピンの設定を終えたら、タイマースイッチを🕓に合わせます。
これでタイマー運転の設定が完了です。

高温注意

①パネル等の外装は高温になります。幼児などが触れることのないよう、ご注意ください。
②ヒーターの直前で就寝されますと、熱中症の恐れがあります。
幼児・お年寄り・泥酔者等へのご使用には、周りの方が十分に配慮してください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行なってください。
2 柔らかな布に水を含ませ、固く絞ってから拭いてください。
3 汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。
4 クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。
5 サーモスタットなど操作部には絶対に水がつかないように注意してください。

保管のしかた

1 ほこりが入らないように､付属のコットンカバーをお使いください。
2 ホコリの少ない､乾燥した場所で保管してください。
3 電源コードはコードボックスにしっかりと収納してください。

電源コードの点検

1 時々ご使用中に電源コードの安全点検を行ってください。
2 下記の症状の場合には使用を中止してください｡発火の恐れがあります。
①電源コードが熱い。
②電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする。
3 修理は必ず販売店または当社へ依頼してください｡誤った修理は火災につながります。

故障診断

症　状	点検・原因	処　置
電源が入らない	プラグの外れ ブレーカー落ち タイマーの入時刻になっていない	正しく差し込む 原因を調べてから復旧させる タイマーの設定を直す
部屋の暖まり方が不十分	カーテンや家具等で空気の流れが阻害されていないか 部屋が大き過ぎる すきま風 室温設定が低い 使用していないヒーターがある	障害を取り除く 置き場所の変更 補助暖房を追加 すきま風の防止 サーモスタットの数字を大きい方にセットする 全てのヒーターを「入」にする
異臭	初めての使用時は、ニオイを感じることがある	1日程度の使用で解消する
異音	ヒーターの入切時に動作音がします。 オイルに含まれている微量の水分が気泡となってはじける小さな音が発生することがあります。 電源を入れた後および切った後に、温度変化による部材の膨張・収縮の音（ピシッ)がすることがあります。	故障ではありません。 故障ではありません。 故障ではありません。
電源プラグが熱い	プラグの異常→使用中止 コンセントの異常→使用中止	電源コードの交換(当社へ依頼) コンセントの修理 (電気工事店へ依頼)
電源コードが熱い コードを動かすと電源が入/切する	電源コードの半断線→使用中止	電源コードの交換 （当社へ依頼）
ブレーカーが働く	契約電流以上の電気を使用	接続機器を減らす 契約電流を増やす

アフターサービス

1　使用中に異常が生じた場合には、故障診断に従って調べていただき、なお異常があるときは電源プラグを抜いてお買上の販売店または当社へご相談ください。
2　保証期間内の修理については、保証書に基き無料で行ないます。
3　保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4　この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後６年です。
5　販売店または当社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
　①　品名、品番
　②　症状
　③　お買上年月日（保証書に記入）
　④　お客様名、ご住所、電話番号
6　内蔵オイルについて
　①　オイルヒーターには不燃性の特殊オイルが充填されています。
　②　オイル容器を開けての修理はできません。
　③　製品を廃棄するときには、オイル処分に関する自治体の規則に従ってください。
　④　廃棄について不明な場合には当社お客様相談窓口までお問合せください。

当社お客様相談窓口

相談部門　TEL 0120─583─570　FAX 03─5677─1783

〒135－0016　東京都江東区東陽4丁目10番4号　東陽町SHビル6階

仕　様

製品名	Cadizオイルヒーター
品番	ROF14TJ／ROF14TJB
適用畳数	４畳（木造住宅）～10畳（コンクリート住宅）
電源	100V　50/60Hz
消費電力	1400W（500Wオイルヒーター×２、400Wブーストヒーター×１）
外形寸法	高さ605㎜×幅576㎜×奥行245㎜
電源コード	２ｍ
製品質量	14kg
付属品	コットンカバー(１)

保　証　書

持込修理

品名　Cadizオイルヒーター	品番　ROF14TJ / ROF14TJB
保証期間　＊お買上日　年　月　日から３年間（本体）	
お客様名　様 ご住所　〒　電話番号（　）　ー	
＊販売店　住所 店名　㊞ 電話番号（　）　ー	

販売店様へお願い：＊印欄にご記入・捺印のうえ、お客様にお渡しください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたしますので、販売店または当社へお申し出ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
   - ロ. お買上後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障および損傷。
   - ハ. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
   - ニ. 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買上日、お客様名、販売店の記入捺印の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって当社および他の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、販売店または当社にお問合せください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

株式会社　グレン・ディンプレックス・ジャパン

〒007-0846　北海道札幌市東区北46条東17丁目2番23号
電話　011-783-7989